

神戸市下水道事業経営計画の検証結果

1. 経営計画の検証結果

令和元年度に策定した「神戸市下水道事業経営計画」（対象期間：令和2年度～令和11年度）について、中間年度における検証・見直しを令和6年度から令和7年度にかけて実施した。今回の見直しでは、建設資材や労務単価の高騰に伴う事業費の増加を踏まえ、投資計画及び管理指標の見直しを中心に行った。（図1～図4に詳細）

見直し内容については、神戸市会及び神戸市上下水道事業審議会に報告し、議員や委員から意見を聴取した。

現時点では、計画期間内における下水道使用料の改定は予定していないが、引き続き、事業の効率化、コスト縮減、使用料以外の収入源の確保など、経営計画に記載した経営改善の取組を着実に実施し、今後も経営の安定化に努めていく。また、今後も毎年度の自己評価を継続して実施するとともに、社会情勢の変化等により見直し後の計画と実態に大きな乖離が生じた際は、必要に応じて計画の再見直しを行う。

投資計画

BE KOBE

- 安全・安心・快適な市民生活の維持のために必要な施設から優先的に更新します。
- 物価や労務単価の上昇を見込んでいます。



図1 投資計画の見直し

財政計画

- 下水道使用料収入：当初計画よりは増加していますが、人口減少等により、今後も減少傾向が見込まれます。
- 収支差引：物価や労務単価の上昇の影響により、赤字が見込まれます。
- 収支や経営指標が改善するよう、引き続き経営努力に取り組みます。

当初計画						中間見直し後					
(税抜、単位：億円)						(税抜、単位：億円)					
	2025	2026	2027	2028	2029		2025	2026	2027	2028	2029
下水道使用料	187	185	184	183	182	下水道使用料	191	190	189	188	187
長期前受金戻入	90	90	86	82	80	長期前受金戻入	88	84	80	78	79
一般会計繰入金	45	46	45	45	44	取 一般会計繰入金	42	43	44	44	45
入 その他収益等	3	3	3	3	3	入 その他収益等	6	6	6	6	6
特別利益	0	0	0	0	0	特別利益	0	0	0	0	0
合計(A)	327	326	319	315	311	合計(A)	329	325	321	318	319
人件費	26	26	26	26	26	人件費	24	24	24	24	24
物件費	59	59	59	59	59	物件費	78	79	79	79	79
減価償却費等	220	223	213	206	201	減価償却費等	213	210	204	204	210
企業債支払利息等	15	15	14	13	12	企業債支払利息等	18	18	19	20	22
その他支出等(雑支出他)	0	0	0	0	0	その他支出等(雑支出他)	1	1	1	1	1
特別損失	2	1	1	1	1	特別損失	0	0	0	0	0
合計(B)	324	325	314	307	301	合計(B)	337	334	329	330	338
収支差引(C=A-B)	2	0	5	8	9	収支差引(C=A-B)	△ 8	△ 9	△ 8	△ 12	△ 19

※各項目で単位未満を切り捨てて表示しているため、合計値や収支差引値が内訳項目の計基結果と一致しない場合があります。

図2 収支見直し

管理指標一覧

管理指標		具体的な内容	当初の目標 (2020～ 2029)	実績 (2020～ 2024)	変更後の目標 (2020～ 2029)	今後の予定 (2025～ 2029)
管きよの 老朽化 対策	污水 管きよ	点検・調査延長	700km	513km	1,660km	1,147km
		改築延長	450km	173km	290km	117km
	雨水 管きよ	点検・調査延長	400km	148km	430km	282km
		改築・改修	-	8地区	63地区	55地区
処理場の 改築更新	ポートアイランド処理場		供用開始	整備中	供用開始	供用開始
	西部処理場(北系)	施設の建設、設備の設置など	供用開始	整備中	2030年度以降 供用開始	2030年度以降 供用開始
	垂水処理場(東系)		供用開始	供用開始	供用開始	供用開始

※見直しにより目標を変更した項目については、赤字で記載しています。

図3 管理指標の見直し1

管理指標一覧

BE KOBE

管理指標		具体的な内容	当初の目標 (2020～ 2029)	実績 (2020～ 2024)	変更後の目標 (2020～ 2029)	今後の予定 (2025～ 2029)
優先的に実施すべき 管きよの耐震化	汚水管きよ	災害時における拠点施設の下流等	38km	33km	38km	5km
	雨水管きよ	緊急輸送路(国道)の横断部	45箇所	5箇所	34箇所	29箇所
地震時における 最低限の機能確保	処理場	揚排水・簡易沈殿・消毒機能 の確保 (ポンプ場は揚排水機能の確保)	3箇所	1箇所	2箇所	1箇所
	汚水ポンプ場		3箇所	1箇所	2箇所	1箇所
	雨水ポンプ場		6箇所	3箇所	6箇所	3箇所
浸水対策エリアにおける家屋被害の 解消		継続的な事業実施による 床上・床下浸水の解消	6地区	3地区	6地区	3地区
現在よりも雨水排水能力を向上させる ポンプ場		現在の設計基準を適用した ポンプへの改築更新	4箇所	2箇所	3箇所	1箇所

※見直しにより目標を変更した項目について、赤字で記載しています。

| 014

図4 管理指標の見直し2

表1 経営健全化に関するロードマップ

	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
経営計画期間 (R 2-R 11)	→						
中間年度における計画の見直し	●	●					
事業進捗・財政収支の検証 (上下水道審議会 決算審議)	●	●	●	●	●	●	●
事業の効率化・コスト縮減	←→						
収入源の確保	←→						
次期経営計画の検討 (使用料、経費削減等の検討を含む)			←→				
次期経営計画 (R 12-)							→